

1 日目プログラム

10:30 ~ 受付開始

11:00 ~ 12:20 組織マネジメントの基本

組織にはリーダーが必要である。リーダーのマネジメントの仕方によって、その組織やその組織に所属する職員の成果や成長に大きな違いが生じる。組織マネジメントには原理原則(基本)があり、リーダーは、組織マネジメントについて学ぶことが必要である。基本について知り、それに基づいたマネジメントをしないと良い結果は得られない。都度改定される制度や報酬単価に対応することも大切であるが、ここでは組織マネジメントのための基本的事項について話をします。

- 基本的事項の再確認
組織/事業/マネジメント/チーム・マネジメント/リーダー/お客様/位置と役割
- 具体的方法
 - 1) PDCA サイクル
状況を把握しましょう/課題を抽出しましょう/要因分析をしましょう/計画を立てましょう/やってみましょう/結果検証
 - 2) リスクマネジメント
苦情/ヒヤリハット/事故/感染/災害など
- リーダーとしての基本的行動
心のあり方/物事の考え方/行動のあり方

Profile

太田 睦美

(作業療法士)
一般財団法人 竹田健康財団
介護福祉本部長代理

介護福祉本部という、介護・福祉(一部保健・医療)領域における事業を企画・運営・統括する仕事をしている。

12:20 ~ 13:10 昼食

13:10 ~ 14:30 目標指向型組織マネジメントの実践

「何のためにこの仕事に就くのか?」「何のためにこの組織があるのか?」。職員一人ひとりがそのような問いかけを繰り返す風土をつくるのが、組織を強固にする。組織を生き物と捉えてみると、作業療法が組織の課題を解決する考え方や手段へと導いてくれる。目標指向型の組織マネジメントについて、勤務時代から起業に至る現在までの経験を通して伝えたい。

- 起業するに至ったきっかけ
- 組織の目的を共有するために
良い対立環境とは/企業経営者になって分かったこと/何のための組織なのか
- 組織の目標を立て、確実に実行していくために
PDCAを回すコツ/MTDLPで考える/BSCの実践
- なるぞの組織マネジメント
マネジメントの軸になるもの/具体的な手段/職員に求める4つの能力
- マネジメントを武器にする
マネジメントされている? している?/自分自身のマネジメントに還る

Profile

谷川 真澄

(作業療法士)
有限会社なるぞ
代表取締役

総合病院(身障・発達)、老健、精神科病院、訪問リハビリ各分野を経て起業。事業開始後14年経過、現在、介護保険5事業と、保険外事業としてフィットネス、総合事業の委託事業などを行っている。

14:40 ~ 16:00 OTが管理職をすることの意味

— 活性化する組織と介護事業運営

今回のマネジメントセミナーは、私にとって「作業療法とは?」という根源的な意味を再考する機会である。学生時代、臨床・教育・運営・管理の36年間を通じて、私のなかで「何を学び」「何を得てきたのか」、そして「その学びをどのように現在のマネジメントに活かしているのか」をお伝えしたい。一貫して、私が作業療法士として大切にしてきたものは、人が主体的になること、その環境を整えることであり、このマネジメントが作業療法であると考えている。

- 学生時代に学んだこと
夜間の養成校であり、障害者の生活実習所で働いているときの作業との出会い
- 作業療法士として、重症心身障害児者との出会い
生活の連続性を支援するという、繋ぐ・繋がるための作業療法の意味を知る
- 作業療法を実践するための環境の矛盾
理想と現実のギャップのなかで、もがき苦しみながら考えた作業療法
- 環境を作るための挑戦
経験から自己で考えた仮説に基づく、人が主体的な作業を行うための環境づくり
- 介護老人保健施設の管理者(施設長)として……
管理者として約18年が経過し、作業療法士がマネジメントをすることの意味に気づく

Profile

土井 勝幸

(作業療法士)
介護老人保健施設
せんだんの丘施設長

介護老人保健施設の管理者(施設長)として勤務、現在老健本体事業に加え、介護保険事業・総合事業等の11事業を運営し、地域包括ケアシステムの構築に奮闘している。

16:00 ~ 17:00 意見交換会